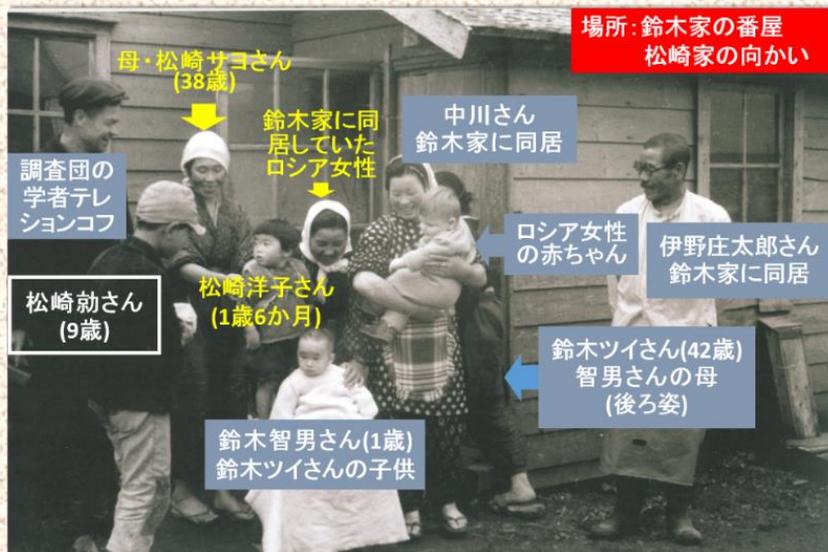


根室振興局が、写真集「千の島を巡る一九四六年のクリル探検」の写真の情報提供を呼びかけて、本人だと特定できた二名の方を紹介します。

## 日口混住時代の写真「帽子を被った少年」 色丹島出身の松崎 勅さん



(「千の島を巡る1946年のクリル探検」より引用)

この写真は、松崎さんの家の向かいの鈴木さんの番屋の前で撮られた写真。帽子を被った後ろ姿の少年が当時九才の松崎勅さん。松崎家にはソ連警備隊の艦長一家三名が住んでいた。写真を撮られていたことは覚えておらず、写真集を見て驚いた。引き揚げ時は物の持ち出しはとて厳しく、写真などがあってもなげろ(捨てる)しかなかったとのこと。



学校からの帰り、二時半頃、浜がうるさいので見に行ったところ兵隊が奇声を上げていました。近づいてみると一人の兵隊がコイコイと手招きをします。行ってみると女性の兵隊がチヨコレートとキャラメルをたくさんくれました。母は「それは毒だから捨てれ」と言いましたが、こっそり網屋に隠し、母の目を盗んでちよくちよく食べていました。

私の家にソ連の艦長の家族が住んでおりました。艦長の家族は奥さんと息子の三人で、艦長の子供や乗組員の子供と一緒にかくれんぼや縄跳び、四角飛びをしたりして遊んだことを覚えています。